

平成 29 年 12 月 7 日

独立行政法人日本学術振興会

日本・スウェーデン外交関係樹立 150 周年記念事業  
ノーベル賞受賞者が市民と対話する公開シンポジウム**「ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2018」****The Future of Food 持続可能な食の未来へ**

独立行政法人日本学術振興会（理事長 安西祐一郎）が、ノーベル・メディア AB（ノーベル財団広報部門）との共同主催により、「ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2018」を、日本・スウェーデン外交関係樹立 150 周年記念事業の一環として、開催します。

ノーベル・プライズ・ダイアログは、世界各国からノーベル賞受賞者を含む著名な研究者や有識者が一堂に会し、社会にとって重要な問題を語り合う、参加費無料の公開シンポジウムです。広く一般の方に、科学技術・学術への理解を深めてもらうことを目的として行われ、日本での開催は 3 回目となります。

今回は、「The Future of Food 持続可能な食の未来へ」をテーマに、食糧、健康、文化、水、貧困といった多様かつグローバルな問題について、語っていただきます。

**●開催概要**

日時：平成30年3月11日（日）10:00～17:00（予定）

場所：パシフィコ横浜 会議センター

主催：独立行政法人 日本学術振興会（JSPS）

ノーベル・メディア AB

特設ウェブサイト：

<http://www.nobelprizedialogue.org/tokyo2018/jp/>

参加登録：平成 30 年 1 月下旬開始予定



ノーベル賞受賞者 5 名によるパネルディスカッション  
（ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2017：  
平成 29 年 2 月）©Nobel Media AB/ Photo: Yuki Kato

**●登壇予定のノーベル賞受賞者（3名）**

大隅 良典  
2016 年  
生理学・医学賞



ティム・ハント  
2001 年  
生理学・医学賞



アダ・ヨナット  
2009 年  
化学賞

## < 開催概要 >

ノーベル・プライズ・ダイアログ東京は、社会の方々の科学技術・学術への関心を高め、学術の振興に寄与するため、国内外のノーベル賞受賞者を含む著名な研究者・有識者を招いて行う、公開の国際シンポジウムです。

ノーベル・メディア AB が平成 24 年から毎年、ノーベル賞授賞式前日の 12 月 9 日にスウェーデンにて実施している公開シンポジウム「ノーベル・ウィーク・ダイアログ」を、日本で日本学術振興会とノーベル・メディア AB の共催により開催するもので、平成 27 年 3 月にスウェーデン国外としては初めて、日本において開催しました。日本での開催は、第 3 回目となります。

### 1. 会議の名称

英文名：Nobel Prize Dialogue Tokyo 2018

和文名：ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2018

### 2. テーマ

英文：The Future of Food

和文：持続可能な食の未来へ

### 3. 開催日時

平成 30 年 3 月 11 日（日）10 時開始、17 時終了（予定）

### 4. 開催場所

パシフィコ横浜会議センター（神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1）

### 5. 主催

独立行政法人日本学術振興会（JSPS）

ノーベル・メディア AB（ノーベル財団広報部門）

### 6. 後援

文部科学省、外務省、農林水産省、横浜市、スウェーデン大使館

### 7. 言語

英語（日英同時通訳付き）

### 8. 参加数

1,000 名程度

### 9. 参加費

無料

### 10. 申し込み方法

特設ウェブサイト（<http://www.nobelprizedialogue.org/tokyo2018/jp/>）にて、平成 30 年 1 月下旬より、参加登録開始予定

## &lt; プログラム（予定） &gt;

<b>1. オープニング 10:00～</b>		
開会挨拶等		
<b>2. 科学と食</b>		
ノーベル賞受賞者や各分野の専門家とともに、自然や社会科学の側面から「食」に迫る。		
<b>3. 文化と食</b>		
ノーベル賞受賞者や各分野の専門家とともに、文化人類学、伝統食、宇宙食といった様々な視点から、文化としての「食」に迫る。		
昼休憩		
<b>4. 将来の食 持続可能な食の未来への挑戦</b>		
分科会 1	分科会 2	分科会 3
食のイノベーション (最先端の科学)	健康と食 (食に関する疾病・伝統食)	持続可能な食 (途上国と食)
休憩		
食のイノベーション (農業 IoT、食のビジネス)	健康と食 (食を巡る政策・制度)	持続可能な食 (水資源)
休憩		
<b>5. 未来に向けて ～17:00</b>		
災害と食		
ノーベル賞受賞者による総括パネルディスカッション		
閉会挨拶		

## <主な登壇予定者（敬称略、五十音順）>

- **大隅 良典**  
東京工業大学科学技術創成研究院細胞制御工学研究センター特任教授  
（栄誉教授）  
（日本、2016年ノーベル生理学・医学賞受賞）
- **ティム・ハント**  
沖縄科学技術大学院大学客員研究員  
（英国、2001年ノーベル生理学・医学賞受賞）
- **アダ・ヨナット**  
ワイツマン科学研究所教授  
（イスラエル、2009年ノーベル化学賞受賞）
  
- **安西 祐一郎**  
独立行政法人日本学術振興会理事長／  
日本・スウェーデン外交関係樹立150周年推進委員会委員長\*  
\*平成30年1月1日就任予定
- **伊丹 健一郎**  
名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所拠点長
- **岩永 勝**  
国立研究開発法人国際農林水産業研究センター理事長
- **沖 大幹**  
国際連合大学上級副学長／東京大学生産技術研究所教授
- **辻 芳樹**  
学校法人辻料理学館辻調理師専門学校理事長・校長／  
辻調グループ代表
- **長谷川 真理子**  
総合研究大学院大学長
- **藤垣 裕子**  
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授
- **向井 千秋**  
宇宙飛行士／東京理科大学特任副学長



- ローラン・アダモヴィッチ  
小児肥満撲滅財団創設者・理事長
- アキンウミ・アデシナ  
アフリカ開発銀行総裁
- マリオン・ギュー  
フランス農学・獣医学・林学研究院アグリニウム取締役会会長
- アダム・スミス  
ノーベル・メディア AB チーフ・サイエンティフィック・オフィサー
- マリオン・ネスル  
ニューヨーク大学名誉教授
- ハワース・E・ビュース  
国際食糧政策研究所ハーベストプラス創始者
- クロード・フィッシュラー  
フランス国立科学研究センターシニアリサーチャー

※登壇予定者の情報は、特設ウェブサイトにも掲載しております。また、今後決定される方についても、順次ウェブサイト上で情報を追加する予定です。

## ＜ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2018 運営委員会委員名簿＞

委員長	安西 祐一郎	独立行政法人日本学術振興会理事長
	岩永 勝	国立研究開発法人国際農林水産業研究センター理事長
	生源寺 眞一	国立大学法人福島大学農学系教育研究組織設置準備室長
	武見 ゆかり	学校法人香川栄養学園女子栄養大学教授、大学院研究科長
	永井 良三	学校法人自治医科大学 自治医科大学長
	福田 裕穂	国立大学法人東京大学理事・副学長、大学院理学系研究科教授

(敬称略、五十音順)

## ＜協賛企業（アルファベット順）＞

ノーベルインターナショナルパートナー：

3M、ERICSSON、SCANIA、VOLVO Cars

特別スポンサー：

株式会社ロッテ、株式会社ヤクルト本社

スポンサー：

大正製薬株式会社

PRODUCED BY



NOBEL INTERNATIONAL PARTNERS



EVENT PARTNERS



SUPPORTING ORGANIZATIONS



IN COLLABORATION WITH



SPECIAL THANKS TO

Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT), Ministry of Foreign Affairs (MOFA),  
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF), City of Yokohama, Embassy of Sweden

## ＜過去の開催実績＞

（第1回）ノーベル・プライズ・ダイアログ東京2015

日時：平成27年3月1日（日）

場所：東京国際フォーラム

テーマ：Genetic Revolution and Its Future Impact

生命科学が拓く未来

講演者数：25名（うち、ノーベル賞受賞者7名）

（第2回）ノーベル・プライズ・ダイアログ東京2017

日時：平成29年2月26日（日）

場所：東京国際フォーラム

テーマ：The Future of Intelligence

知の未来～人類の知が切り拓く人工知能と未来社会～

講演者数：36名（うち、ノーベル賞受賞者5名）

本件問い合わせ先：独立行政法人日本学術振興会

国際事業部長 小林万里子、国際事業部 研究協力第一課 課長代理 金子 郁代

TEL：03-3263-1793 FAX：03-3234-3700 E-mail：nobelprizedialogue@jsps.go.jp